

防災訓練の結果の概要（要素訓練）

1. 防災訓練の目的

本訓練は、原子力事業者防災業務計画 第2章 第7節に基づき実施した要素訓練であり、各事象収束に対する各種手順に対する対応の習熟が目的である。

2. 訓練実績と今後の原子力災害対策に向けた改善点

報告対象期間中(令和4年2月9日～令和4年11月18日)に実施した要素訓練の結果と改善点は以下のとおり。

訓練項目	訓練内容	対象者	実施日	参加者数	訓練結果／今後の原子力災害対策に向けた改善点
(1) 警戒事象発生時の初動訓練	勤務時間外での災害発生(火災)を想定した要員の参集、100番通報及び構内放送による発災状況伝達訓練	従業員、協力会社員及び来客	令和4年6月27日	60名	結果：勤務時間外での災害発生初動時における発災状況の伝達手順等に問題がないことを確認した。 改善点：特になし。
(2) 社外への通報連絡訓練	火災発生を想定した関係機関（原子力規制庁、自治体、近隣事業所等）への一斉同報FAX（Fネット）を用いた通報連絡訓練	通報連絡班	令和4年7月4日	7名	結果：災害発生時の関係機関への通報連絡（一斉FAX送信）に問題がないことを確認した。 改善点：特になし。
(3) モニタリング訓練	放射性物質漏洩を想定した災害発生時の放射線監視設備（モニタリングポスト、スタックモニタ、エリアモニタ）のモニタリング訓練	放射線測定班 汚染除去班	令和4年11月4日	10名	結果：災害発生時における放射線監視設備のモニタリングに問題がないことを確認した。 改善点：特になし。
(4) 避難誘導訓練	火災発生を想定した以下訓練を実施した。 従業員は防護防災活動のため所定の持ち場に参集、協力会社員及び来客は構内放送により屋内待機するよう避難誘導指示を行い、屋内待機までの訓練	従業員、協力会社員及び来客	令和4年7月4日	93名	結果：災害発生時における、従業員の参集、協力会社員及び来客の屋内退避について問題がないことを確認した。 改善点：特になし。
(5) 社内の情報連絡訓練	災害発生を想定した放射線測定班内の情報共有訓練	放射線測定班	令和4年11月14日	5名	結果：災害発生時における、放射線測定班の情報共有に問題がないことを確認した。 改善点：特になし。
	災害発生を想定した災害発生場所と緊急時対策所の情報共有訓練	従業員、協力会社員及び来客	令和4年7月4日	93名	結果：災害発生時における、社内情報共有に問題がないことを確認した。 改善点：特になし。

訓練項目	訓練内容	対象者	実施日	参加者数	訓練結果／今後の原子力災害対策に向けた改善点
(6) 他事業者との連携訓練	災害発生時の東海ノアへの連携訓練（緊急事態を想定した協力活動訓練）	本部員	令和4年7月8日	3名	結果： 発災想定事業所からの協力要請に基づく初動通報連絡を行い、派遣要員の人選、発災地区毎のFAX送信先、送信手順と内容に問題がないことを確認した。 改善点：特になし。
(7) プレス対応訓練	汚染・被ばく発生を想定した災害発生後の県庁への要員派遣、事業所から県庁派遣者への情報提供、模擬記者を配置した記者発表訓練	広報班他プレス対応者	令和4年7月4日	4名	結果：汚染・被ばく発生後の記者発表調整手順及びプレス文に問題がないことを確認した。 改善点：特になし。
(8) ERC との常時応答訓練	原災法事象発生を想定した常時応答者の応答要領、サポート者の役割、常時接続電話機の操作確認	ERC 常時応答者 サポート者	令和4年10月21日	4名	結果：常時応答者の応答要領、サポート者の役割及び常時接続電話機の操作に問題がないことを確認した。 改善点：特になし。

以上